

裾野市教育部指定管理者選定評価委員会
(裾野市スポーツ施設等)

審 査 報 告

令和元年10月24日

裾野市スポーツ施設等（裾野市民体育館、裾野市運動公園総合体育施設及び裾野市運動公園、裾野市総合グラウンド、裾野市深良グラウンド及び裾野市須山テニス・フットサル場）の指定管理者の候補者の選定にあたり、裾野市教育部指定管理者選定評価委員会（以下、「選定委員会」という。）は、申請者から提出された申請書類による書類審査及び面接審査により審査を行った。

1. 選定委員会委員

委員長 山口 正巳（元裾野市行政改革推進委員会委員）
委員 鈴木 浩正（元裾野市行政改革推進委員会委員）
委員 中野里高紀（税理士）
委員 芹澤 嘉次（行政経営監）
委員 西川 篤実（企画部長）
委員 杉山 善彦（教育部長）

2. 選定経過

日程	内容
8月 20日（火）	選定委員会（申請書類等確認）
8月 27日（火）	募集要項の公表 申請受付開始
9月 2日（月）	公募に関する質問の受付開始
9月 6日（金）	現地説明会（12団体が参加）
9月 13日（金）	公募に関する質問の受付終了（73件）
9月 20日（金）	公募に関する質問への回答
10月 2日（水）	申請受付終了（3団体が申請）
10月 10日（木）	選定委員会（一次審査）
10月 18日（金）	選定委員会（二次審査）

3. 審査方法

選定委員会では、下記の評価基準項目及び配点をあらかじめ定めた上で、一次審査（書類審査）及び二次審査（面接審査）により選定委員会としての指定管理者の候補者の第1順位者、第2順位者及び第3順位者を選定した。

4. 評価基準項目及び配点(裾野市スポーツ施設等)

I. 書類審査

審査項目		配点
1	基本的事項	15
	定款・寄付行為、規約等に定められた団体の経営理念や業務内容が、当該指定管理者業務を行うのに適しているか。(5)	
	施設の管理運営に対する意欲、熱意はあるか(5)	
	施設の状況を正しく理解し、将来展望が適切に提案されているか。(5)	
2	施設の設置目的を効果的に達成する事業計画	40
	施設の設置目的及び市の管理、運営方針が示されているか。(10)	
	施設の利用について利用者の公平性が確保されているか。(10)	
	指定管理期間内における目標を明確に設定し、達成に向け具体的な取り組みが計画されているか。(10)	
	施設を利用するスポーツ団体等との連携について優れた将来展望を持っているか。(10)	
3	利用者に対するサービスの向上と利用促進	55
	サービスの向上に関する提案がなされており、かつ具体的で有効なものであるか。(10)	
	施設利用促進のための工夫が提案されているか。(10)	
	利用者からの意見・要望等を的確に把握し、柔軟に対応できる体制を検討しているか。(10)	
	利用者からの苦情等に誠実かつ適切に対応する体制を検討しているか。(5)	
	広報の手段、方法が充実しているかどうか。(10)	
	施設への交通の便を向上させる計画は適正かつ、実現可能か。(10)	
4	スポーツ振興に関する事項	45
	スポーツ教室、セミナー等の開催に関する事業計画は適切か。(15)	
	市民の健康増進に関する事業計画は適切か。(5)	
	スポーツツーリズムに関する事業計画は適切か。(10)	
	市内スポーツ振興のために、地域人材を育成または活かした事業計画がなされているか。(10)	
	裾野市スポーツ祭の実施について、実行委員会を組織し、事業を遂行できるかどうか。(5)	
5	自主事業に関する事項	50
	自主事業が施設の特性を活かし、効率的かつ健全に計画されているか。(20)	
	自主事業が実現可能であり、魅力的な提案がなされているか。(20)	
	裾野市内外からの交流を促進する自主事業を計画しているか。(10)	

6	組織体制、人員配置に関する事項	30
	サービスを向上させるための十分な組織体制・人員配置となっているか。(10)	
	業務に精通した人材が確保されているか。(10)	
	職員の指導、育成、研修計画は適切か。(10)	
7	安全管理への取り組み	35
	施設・設備に係る安全対策は適切か。(10)	
	駐車場管理業務における安全対策は適切か。(5)	
	災害や事故等への防止の取り組みは適切か。(5)	
	施設内での防犯・防災等の対策は適切か。(5)	
	緊急時の連絡・指揮系統は確立しているか。(5)	
	個人情報保護に関する取り組みは適切か。(5)	
8	施設・設備の維持管理に関する事項	60
	施設・設備の維持管理体制は明確に示されているか。(10)	
	施設・設備の維持管理に関する計画は適切か。(10)	
	施設の植栽の維持管理、剪定、に関する計画は適切か。(10)	
	備品の維持・修繕計画は適切か。(10)	
	経費節減のための努力や工夫が提案されているか。(10)	
	エネルギーの削減など環境に配慮した計画が検討されているか。(5)	
	外部委託等に係る事業者選定は地元事業者を検討しているか。(5)	
9	申請団体の管理運営能力	20
	財務状況や経営基盤は安定しているか。(10)	
	類似施設の管理運営について十分な運営実績があるか。(10)	
10	収支計画に関する事項	15
	事業計画に対する収支予算は適切か。(5)	
	収入を増加させていくことを見込んでおり、実現可能な提案であるか。(10)	
11	指定管理料	35
	指定管理料に対する得点は次式により算定する。(少数点第3位以下切捨)	
	$35 \text{ 点} \times \frac{\text{各事業者の指定管理料のうち最低の額}}{\text{各事業者の指定管理料の額}}$	
	ただし、申請が1団体又は1グループの場合は、35点とする。	
書類審査 配点合計		400

5. 総合評定（プレゼンテーション、ヒアリングを含む）

審査項目・基準	配点
<p>1 参入意欲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募施設をしっかりと把握しているか。 ・ 委員からの質問に対する回答が的確であったか。 ・ 熱意や意欲があるか。 	15
<p>2 創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・利用促進策が効果的で具体的であるか。 ・ 施設全体の活用や発展的な計画が企図されているか。 ・ スポーツ振興事業の内容は指定管理業務の基準を満たしており、かつ利用者の増加及び層の拡大のための魅力的な企画・教室等が提案されているか。 ・ ツーリズム等交流人口の拡大のための提案がされているかどうか ・ 自主事業の計画に利用者数及び施設稼働の拡大に対し、実現可能な計画が提案されているか。 ・ 利用者の増加が見込め、サービスの向上になっているか。 	30
<p>3 妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案内容が施設の設置目的・役割を意識したものになっているか。 ・ 提案内容を実現できる人員・運営体制を有しているか。 ・ 提案内容を実現できる経営能力・運営実績を有しているか。 	20
<p>4 連携協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係団体と円滑に連携協力する体制を有し、スポーツの持続発展と地域活性化を図る具体的な計画を提案しているか。 ・ 市公共団体、教育機関、地域住民、各種団体と連携のとれる体制や具体的な連携策を有しているか。 	20
<p>5 専門的見地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の専門分野による評価 	15
面接審査 配点合計	100

配点総合計	500
-------	-----

配点は、選定委員1人あたりの持ち点数。選定委員会の評価は全ての選定委員の合計

6. 審査結果

選定委員会にて、申請のあった3団体を対象に一次審査（書類審査）及び二次審査（面接審査）を実施した。

その結果、下記のように選定委員会としての指定管理者の候補者の第1順位者、第2順位者及び第3順位者を選定した。

順位	申請者名	第1順位者の得点
第1順位者	すそのシティスポーツパーク共同企業体	2,299.7点/3,000点 (得点率76.7%)
第2順位者	トヨタエンタプライズ・ミズノグループ	—
第3順位者	裾野市スポーツ施設等マネジメント共同事業体	—

※得点は第1順位者のみ公表。

(総評及び選定理由)

- ・公募により申請のあった3団体について審査基準に基づいて採点した結果、すそのシティスポーツパーク共同企業体が、基準点(満点の6割)を満たし且つ最も高く得点した。
- ・選定にあたっては、安全な施設の維持管理を行うとともに、利用者に対するサービスが向上し、施設利用が促進され、市内スポーツ振興に寄与することを前提に評価を行った。
- ・第1順位者の提案は、構成企業の得意分野を持ち寄ることで、指定管理者として行うべき基本的な業務から独自の提案まで随所に創意工夫が見られ、幅広い分野において委員の評価を得るものだった。施設における現状の課題解決については、その対応策の専門性、具体性ともに期待が持てるものだった。また、自主事業は実現可能性が高く充実しており、市の施策であるスポーツツーリズムの推進にも寄与すると考えられるものであった。
- ・第2順位者の提案は構成企業の強みを活かした内容であり、施設の維持管理や組織体制、人材育成、自主事業といった点で評価できるものであった。
- ・第3順位者の提案は、利用者へのサービス向上や利用促進に関する提案の具体性や、関係団体との連携といった点について評価できるものであった。
- ・市には、提案内容が着実に実施されるよう指定管理者制度を活かしていくことを求める。